



【自衛隊札幌病院創立63周年記念行事】

平成30年6月8日・9日

自衛隊札幌病院（病院長：上部陸将）は、6月8日（金）、自衛隊札幌病院創立63周年記念行事を挙行しました。執行官式辞では「救命ドクトリン」に基づく実効性ある衛生支援態勢・体制の構築を目指す中、**現状に満足せず「北部方面隊の任務完遂に貢献しているのか」「救える仲間を失わないために何をするのか」等の問題認識を持ち、実診療や各種教育訓練を通じての医療・看護能力の向上、実務を踏まえた病院基盤の充実、事態対処時の衛生科運用の実効性の向上等、病院の業務全般において“将来を見据えた見直し・改善”に取り組む必要性を強調**するとともに、**良き伝統を継承し、利用者と勤務員が満足し、「自衛隊病院としての即動・完遂」が達成できる、『心の通う信頼される病院』の創造に向け邁進する決意**を述べられました。行事にあわせて行われた感謝状贈呈式では、北海道大学教育推進センター助教 村上壮一氏に感謝状が贈られるとともに、北海道名寄保健所及び豊友会事務局員への感謝状贈呈が紹介され、表彰式において、先般受検した物品管理・補給整備検査及び給食審査に功績のあった隊員及び部署を讃えました。

翌9日（土）には、北海道文教大学副学長 橘内勇氏に対し病院長からモニター委嘱状が手渡されました。また、記念講演会では、当院勤務歴（衛生資材部）のある第10後方支援連隊衛生隊隊長 **川崎真知子 2等陸佐**による「**部隊における女性自衛官の活躍**」と題した講演を約170名が公聴し、部隊はもとより国際活動でも活躍の場が広がっている女性自衛官の現状と趨勢、マインドの醸成について理解を深めました。講演会に引き続き、病院のOB会である豊友会主催による懇親会が開催され、盛況のうちに終了しました。



執行官式辞



感謝状贈呈式後の記念撮影
(北海道大学教育推進センター助教 村上壮一氏)



功績隊員の表彰



病院モニター委嘱式後の記念撮影
(北海道文教大学副学長 橋内勇氏)



記念講演
(第10後方支援連隊衛生隊隊長 川崎真知子2佐)



記念メダル